

この安心は、 厳しさから。

中部・東海 ver.

滅菌器・ハンドピース User's voice

愛知県東海市
医療法人 好貴会
いのうえ歯科クリニック
理事長 井上 貴詞先生

地域のみなさまが 「安心して通える歯医者」であること

デンツプライシロナが提案する厳しいヨーロッパ基準。

感染対策の重要性に関心が高まる今、

この選択は患者さんとスタッフからの支持を確かなものにします。



HYGIENE SYSTEM
DAC

コンビネーション・オートクレーブ

DAC ユニバーサル2



- ハンドピース6本の「洗浄」「注油」「滅菌」がわずか20分で完了
- 専用バスケットでミラーやカンシなどの棒物の洗浄と滅菌が可能
- 各メーカーのタービン、コントラ用アダプターをご用意

●詳細はお取り引きディーラー様へお問い合わせください。

デンツプライシロナ株式会社

本社 / 〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布借成ビル

一般的名称 除染・滅菌用洗浄器 販売名 DACユニバーサル 承認番号 220008Z100012000 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器
一般的名称 小型末包装品用高圧蒸気滅菌器 販売名 DACプロフェッショナル 認証番号 223AABZ100003000 特定保守管理医療機器

クラスB滅菌器

DAC プロフェッショナル



- チャンパー内を真空状態とすることにより、飽和水蒸気が隅々まで浸透
- 通常滅菌が困難である中空製品(インプラント用インスツルメント、ハンドピース、シリンジ等)や繊維製品(ガーゼ、ドレープ等)を確実に滅菌
- 滅菌から乾燥まで、38分(クイックBプログラム)、20分(クイックSプログラム)

DAC 滅菌

BH3001DE

衛生環境について

開業前にヨーロッパの歯科医院を視察に行く機会があり、その際にDACユニバーサルやクラスBの滅菌器が当然のこのように導入されているのを見て、スタンダードプリコーション(標準予防対策)が根付いていることを実感しました。また、代診時の勤務先にDACユニバーサルとプロフェッショナルが導入されていたこともあり、当院も開業から導入することを決めていました。開業するにあたり「地域のみなさまが「安心して通える歯医者」である」というコンセプトを掲げ、安全性の高い治療を目指しています。患者さんに安心して通っていただきたいから、「曖昧さ」を可能な限り排除した衛生環境の確立に腐心し、その一環として、感染リスクの少ない完全個室での診療を行っています。



目標に向かい、コツコツと一歩ずつ

最近、新聞やテレビなどで歯科医院の衛生状況に関してたびたび報道がされていますが、高度な衛生環境をつくらうと思ったら、

やはりコスト面での障壁は出てくると思います。しかし、しっかりと計画を立てれば難しいことではないと考えています。当院では開業時より計画を立て、ハンドピースは「積み立て貯蓄」のように毎月1本ずつ増やしていくことを心掛けてきました。また、2016年には2台目のクラスB滅菌器DACプロフェッショナルを追加購入しました。当院のロゴマークである「亀」には、予防歯科も設備投資もコツコツと継続することが大切という思いが込められています。

このような考えのもと衛生環境を整えてきているので、患者さんからの問い合わせがあった際にもしっかりと患者さん毎に器具を取り換えていることをお伝えできますし、勤務しているスタッフも安心してご家族や友人に当院を勧めてくれています。これからは、患者さんへの情報提供の場であるホームページにもっと衛生環境について情報を掲載し、充実させていきたいと考えています。



中部・東海 ver.

滅菌器・ハンドピース User's voice

静岡県磐田市
医療法人社団 あおば会
市野歯科医院
院長 市野 孝昌先生

スタッフ全員が自信と誇りを持って歯科医療に従事する

滅菌システムの確立は最低条件

当院では、「磐田市民の口腔の健康を世界一にする 歯の寿命と命の寿命を逆転させる」という目標を持ち、メンテナンスを通じて生涯健康な口腔内を維持できるよう日々診療を行っています。診療の軸は「予防」ですが、診療を行う上で滅菌システムの確立は最低条件だと考えています。患者さんに安心していただくために、フロアの中央にあえてガラス張りの滅菌室と消毒室を設け、そのまわりに個室診療室を配置しています。患者さんの導線上から滅菌室が見えるため、安心して通っていただけていると感じています。初診の患者さんも、この滅菌室を見ていただくと安心されるようです。また、診療時には患者さんの前でハンドピースをセットし、診療が終わったらすぐに滅菌室に持っていきよう徹底をしています。

スタッフへのメリットとは

滅菌システムを確立するということは、患者さんにとっては勿論ですがスタッフにも大きなメリットがあります。まず、感染リスクが軽減する



ことにより安心して本来の業務に集中できること。次に、自信と誇りを持って患者さんと接することができることです。当院に勤務する12名の衛生士は、衛生環境に関する正しい知識を持っているため、患者さんからの質問に的確に対応できます。当院全体が自信を持って歯科医療に携わり、それが患者さんに伝わるのが大切だと考えています。

歯科医療における衛生環境への意識

歯科医院の衛生環境については、これからはもっと意識を高めていかなければならないと思っています。導入に際して障害もあるかもしれませんが、患者さんとスタッフの安心・安全にはかえられません。将来的には2階にもユニットを増設する計画があり、その際には滅菌室も併設してDACユニバーサル・DACプロフェSSIONナルを増やす予定です。今後も患者さんに安心・安全な医療を提供出来るよう取り組んでいきたいと思っています。

中部・東海 ver.

滅菌器・ハンドピース User's voice

愛知県小牧市
医療法人社団 健誠会
ケンデンタルクリニック
理事長 高木 健一先生

古き良き技術を守るための正しい環境づくり

私の治療の流儀

当院は、愛知県・岐阜県・東京都にわたり展開しており、お子さんからご年配の方まで幅広い年代層の患者さんが来院されます。よって各患者さんの必要で最適な治療は多岐にわたります。機能的にも審美的にも優れた先端治療を行うことはもちろん、長らくご使用されているデンチャーのメンテナンスを行うこともあります。また、計6軒のクリニックを運営しているので、本当に様々な治療ケースがあります。私の流儀と言っているかもしれませんが、全ての治療は正しい環境のもとで行われなければならない、と強く思っています。単に設備や手技の派手さにこだわるのではなく、スタッフ全員が共通の認識のもと、徹底された衛生環境を作り出すことは何よりも大事だと考えています。

一連の滅菌報道について

近頃、マスコミ等での滅菌に対する報道がされていますが、当院では報道があった以前より院内の衛生環境を最善に保つためDACユニバーサルを導入し、患者さんごとに器具の滅菌を行っています。報道があった際にも問い合わせがほとんど無く、患者さんにわかりやすいように待合で啓



蒙っているので、当院の衛生環境に対する取り組みについて浸透していると感じています。

滅菌機器 投資の考え方

医療収入に直結する他のデバイスとは異なるので、正直、二の足を踏む気持ちはありました。しかし、患者さんのためと考えればコストの問題ではなくなります。分かりやすく言えば、家族のためである、という気持ちと同じです。最近では歯科医院への立入検査要項に滅菌の項目が追加されたと聞きましたが、私見として義務化することには違和感を覚えています。なぜなら、設備だけあっても使用しなければ当然意味は無く、結局のところ歯科医院の意識次第であると思うのです。繰り返しになりますが「私の家族に対して行うこと」を全ての患者さんに行いたい、というのが私の流儀であり信条でもあるのです。

